

笹川記念保健協力財団 奨学金支援
助成番号:2015-

[様式4]

2016年3月17日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 喜 多 悦 子 殿

2015年度奨学金支援

完 了 報 告 書

所属機関・職 名古屋市立大学大学院医学研究科
生体情報・機能制御医学専攻 精神腫瘍学分野 博士課程

氏名 津村 明美

完了報告書

名古屋市立大学大学院医学研究科 生体情報・機能制御医学専攻
精神腫瘍学分野 博士課程 1 年
津村 明美

名古屋市立大学大学院の精神腫瘍学分野の博士課程に入学して 1 年が経過した。非常に短く感じたが、自分にとって、その学びは深く、今後の看護や研究においての重要なものになったと感じている。

この 1 年で、精神腫瘍学という学問の基礎を学び、がん患者の心のケアの重要性を学ぶができた。大学院の授業を通して研究の基礎を学び、精神腫瘍学に特化した部分では、精神腫瘍学の研究にたくさん触れることで、その手法や研究方法論について学ぶことができた。

博士論文の研究に関しては、小児がん患者・家族の QOL 向上につながる緩和ケアやシステムの開発に関する研究を行いたいと考えているため、わが国の小児がん医療および看護における課題を明らかにするために文献レビューを行った。

小児がんは、こどもの病死原因の第 1 位であり、若年者において生命の脅威の原因となる最も重篤な疾患の一つである。こどもががんに罹患すると、患者のみならず、その家族の成員全員が危機状態に陥る[1,2]。がんに限らず慢性疾患を抱えたこどもを持つ親の経験するストレスは、患者のニーズへの対応、変化する家族生活への対処、経済的問題、精神的苦痛など、多岐にわたる[3]。なかでも、主介護者となることが多い患者の母親が経験する精神的苦痛が最も頻度が高く深刻であり[1,4,5]、概ね 20-30%程度の母親に介入が望まれる抑うつ、不安がみられることが示唆されている[6,7]。小児がん患者の主介護者のうつ病、外傷後ストレス障害などの不安障害をはじめとする精神症状は主介護者自身の苦痛のみならず、患者の心理状態および患者に対するケアの質といったさまざまな側面に影響を及ぼす[8-10]。海外の先行研究では、小児がん患者の介護者が顕在化した精神症状を呈する関連要因として、患者の病状、患者の身体状態および精神状態、ストレスコーピング、家族機能、ソーシャルサポートなどが示唆されている[11,12]。

わが国における小児がん患者の主介護者の精神症状の実態は十分に把握されておらず、加えてその精神症状に関連する要因はほとんど同定されていないために主介護者にどのようなサポートシステムやケアが必要であるかは明確になっていない。小児がん患者の主介護者の経験している積極的な介入やケアが望まれる精神症状の有病率を明らかにするとともに、将来の介入研究を念頭にその関連要因を明らかにすることを目的に研究を開始することとした。これについては、倫理審査の承認を受けて、研究協力施設の共同研究者と組織の状況を加味したリクルートの方法や手順を確認しながら、準備をすすめている。

さらに、米国では、小児がん患者の診断後早期から支援を必要とする対象を見出し、適切な介入を提供するために、小児がん患者・家族の心理社会的問題のリスクをスクリーニ

ングするための Psychosocial Assessment Tool (PAT) が開発され使用されている。このスクリーニングツールを用いることによって、小児がん患者・家族の精神的苦痛の軽減、心理社会的問題による家族の社会的不適応状態の改善、小児がん患者・家族の QOL 向上などにおいて効果をあげている[7]。しかしながら、わが国には、小児がん患者・家族のニーズや心理社会的リスクをスクリーニングするための信頼できるツールは見当たらない。先に述べた、研究とあわせて、わが国の小児がん患者・家族を対象とした PAT 日本語版を開発することとした。原版の開発者より日本語版の作成の承諾を得て、提示されたガイドラインに沿って日本語版の翻訳のプロセスをすすめていった。現在は、パイロットテストまでは終了し、原版の開発者からの PAT 日本語版の最終の承認を待っている段階である。

次年度は、小児がん患者の主介護者の精神症状の有病率とその関連要因を明らかにするための調査と合わせて、PAT 日本語版の信頼性および妥当性の検証のための調査を行っていく予定である。この 1 年は準備にかかる時間が多かったが、これからの 1 年は小児がん患者とその家族へのケアのエビデンスをつくり、将来の小児緩和ケアのシステムの構築につながる活動をより具体的に前にすすめられるようにしたいと考えている。

<参考文献>

1. Mott MG. A child with cancer: a family in crisis. *Bmj* 1990; 301: 133-4.
2. Myers RM, Balsamo L, Lu X et al. A prospective study of anxiety, depression, and behavioral changes in the first year after a diagnosis of childhood acute lymphoblastic leukemia: a report from the Children's Oncology Group. *Cancer* 2014; 120: 1417-25.
3. Devine KA, Heckler CE, Katz ER et al. Evaluation of the psychometric properties of the Pediatric Parenting Stress Inventory (PPSI). *Health Psychol* 2014; 33: 130-8.
4. Barrera M, Atenafu E, Doyle J, Berlin-Romalis D, Hancock K. Differences in mothers' and fathers' psychological distress after pediatric SCT: a longitudinal study. *Bone marrow transplantation* 2012; 47: 934-9.
5. Pai AL, Greenley RN, Lewandowski A, Drotar D, Youngstrom E, Peterson CC. A meta-analytic review of the influence of pediatric cancer on parent and family functioning. *Journal of family psychology : JFP : journal of the Division of Family Psychology of the American Psychological Association (Division 43)* 2007; 21: 407-15.
6. Wijnberg-Williams BJ, Kamps WA, Klip EC, Hoekstra-Weebers JE. Psychological distress and the impact of social support on fathers and mothers of pediatric cancer patients: long-term prospective results. *Journal of pediatric psychology* 2006; 31: 785-92.
7. Pai AL, Patino-Fernandez AM, McSherry M, et al. The Psychosocial Assessment Tool (PAT 2.0): psychometric properties of a screener for psychosocial distress in families of children newly diagnosed with cancer. *J Pediatr Psychol* 2008; 33: 50-62.
8. Jobe-Shields L, Alderfer MA, Barrera M, Vannatta K, Currier JM, Phipps S. Parental depression and family environment predict distress in children before stem cell transplantation. *Journal of developmental and behavioral pediatrics : JDBP* 2009; 30: 140-6.
9. Stoppelbein L, Greening L, Wells H. Parental coping and posttraumatic stress symptoms among pediatric cancer populations: tests of competing models. *Psychooncology* 2013; 22: 2815-22.
10. Robinson KE, Gerhardt CA, Vannatta K, Noll RB. Parent and family factors associated with child adjustment to pediatric cancer. *Journal of pediatric psychology* 2007; 32: 400-10.
11. Steele RG, Dreyer ML, Phipps S. Patterns of maternal distress among children with cancer and their association with child emotional and somatic distress. *Journal of pediatric psychology* 2004; 29: 507-17.
12. Norberg AL, Boman KK. Parents' perceptions of support when a child has cancer: a longitudinal perspective. *Cancer Nurs* 2007; 30: 294-301.